

平成 3 0 年

# 議会運営委員会記録

平成 3 0 年 7 月 1 3 日

和 光 市 議 会

## 議 会 運 営 委 員 会 記 録

◇開会日時 平成30年7月13日（金曜日）  
午後 1時30分 開会 午後 2時53分 閉会

◇開催場所 第2委員会室

◇出席委員

委 員 長	吉 田 けさみ	議 員	副 委 員 長	猪 原 陽 輔	議 員
委 員	吉 田 武 司	議 員	委 員	富 澤 啓 二	議 員
委 員	金 井 伸 夫	議 員	議 長	齊 藤 秀 雄	議 員
副 議 長	村 田 富 士 子	議 員	委 員 外 議 員	菅 原 満	議 員
委 員 外 議 員	小 嶋 智 子	議 員	委 員 外 議 員	赤 松 祐 造	議 員

◇欠席委員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	本 間 修	議会事務局次長	伊 藤 英 雄
議事課長補佐	細 野 千 恵	主 任	秋 元 佑 介
主 任	青 木 順 子		

◇本日の会議に付した案件

特定事件7 議会だよりの編集、作成について  
特定事件8 その他議会運営に関することについて  
和光市議会基本条例に基づく見直しについて  
議会報告会の開催要領・役割分担について  
議員研修会について

午後 1時30分 開会

○吉田けさみ委員長 ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

出席委員数が定足数に達していますので、会議は成立しています。

会議には、議長とオブザーバーとして副議長と3名の委員外議員に出席を求めていますことを報告いたします。

本日の案件は、特定事件7、議会だよりの編集、作成について、特定事件8、その他議会運営に関することについてとして、基本条例に基づく見直し、和光市議会報告会の開催要領・役割分担について、議員研修会についてです。

初めに、特定事件7、議会だよりの編集、作成についての議題から行います。

お手元に、わこう市議会だよりNo.101の原稿が配られています。2回の編集事前打ち合わせを経ました掲載内容について、事務局から全ページ一括して説明をお願いいたします。

事務局、お願いいたします。

細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 それでは、御説明いたします。

市議会だよりの2校の表紙から御説明させていただきます。

まず、左側、主な議案の3つ目、上谷津公園の供用開始の部分でイラストを入れたのですが、可能であれば、ベンチや砂場などのイラスト、もしくは実際の公園の写真を提供いただければ、そちらを入れたいと思っております。

そして、その下に議会録画中継、会議録検索システムの記事があるのですが、これにつきましては別紙で代案を御提示させていただきました。まず、画像につきましては、スマホの画面に変更していただいて、その右側におおよその画面の構成などを御案内して、どういう内容で画面がつけられているかわかるように記載したいと考えております。それから、録画中継の画像に関しましては、議員が質疑中の画面が映っているものに差しかえをしたいと考えております。

右側にまいりまして、一般会計補正予算の記事になりますが、こちらにつきましては、前回の編集事前打ち合わせで御提案させていただいたとおり、左側の3つの議案と同じ見出しのスタイルに訂正をしたいと考えております。2校で反映されておりましたので、改めて業者に伝えたいと思っております。また、この補正予算の記事を囲っている枠については外したいと思っております。

歳出の部分につきましては、全体を予算の事業単位でそろえたいと考えました。それで、アーバンアクア公園整備につきましては、「工事」の文字を削りたいと思っております。また、学童クラブ等施設整備の内容の説明につきましては、「(仮称)第五小学校放課後子ども総合プラン拠点施設新設事業」と改めたいと思っております。

次の道路補修につきましては、括弧の中の「市道舗装修繕工事」を削りまして、金額を1億

2,386万円、道路補修全体の増減を反映した後の金額に訂正したいと考えております。

下にまいりまして、報告の部分につきましては、「事項」の文字を削りたいと考えております。

専決処分の部分につきましては、まずは「専決処分とは」という説明を下のほうに持ってきて、  
「条例の一部改正の専決処分について（承認）」というのを一番上に上げたいと思っております。そして、括弧の中の「詳しくは10ページ」というのは削りたいと考えております。

見開きに入りまして、まず左の8ページ、上のほうに「一般質問とは」という御説明を載せているのですが、「将来に対する」を「将来に向けての」に直し、「方針等について報告」を「方針等についての報告」と改めたいと思っております。

それから、議員ごとの一般質問の記事に関しましては、まず3番の赤松議員の答弁の中で、「エンディング施策は市民の関心も高まる」を「エンディング施策への市民の関心は高まる」に訂正したいと考えております。

次の段にまいりまして、まず日付のうち、月の「6」が数字がずれているので、こちらの位置を訂正した上で、5番目の吉田武司議員の見出しのところで、答弁のガソリンスタンドをアルファベットの略で「GS」と表記していますが、こちらを「ガソリンスタンド」と片仮名で表記したいと考えております。

次の段に移りまして、10番目の鳥飼議員の見出しにつきましては、「問」の「開催時間は」のところに「延長」を挿入したいと考えております。

次の段に移りまして、14番の熊谷議員の質問の内容で、「6月実施」の月の次に「に」を挿入したいと考えております。

一般質問の内容については以上です。

右ページ、9ページに移りまして、「用語解説」は先日の事前打ち合わせでお話がありましたので、学童クラブと放課後子ども教室という用語につきまして、校正原稿には事務局案で説明が掲載してありますが、その後、担当課にそれぞれ校正を依頼しまして、別紙のとおり学童クラブと放課後子ども教室の説明を掲載したいと考えております。また、これに伴いまして少し行がふえますので、下のトピックスの幅を少し狭くして、全部盛り込めるようにいたしたいと考えております。

常任委員会の審査の部分については、総務環境常任委員会の下、「※」のところで、今定例会では、こちらには「和光市立公園条例の一部を」と表記していますが、これは内容のところで触れていますので、「職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例」に改めたいと思っております。

次に、トピックスの右側に、今回の西日本の集中豪雨についてのお見舞いと、今後の活動の御案内を掲載しました。案といたしましては、お見舞いと、「和光市議会議員会では、被災地における今後の復旧・復興のため、義援活動に取り組んでまいります。」とさせていただいた

上で、今後、具体的な活動があった都度、広報のほうでお知らせできればという形で、このような案になっておりますが、先ほど会派代表者会議で今後の取り組みにつきましてもお話をされておりましたので、それにあわせてこの文面を御検討いただければと考えております。

最後の裏面につきましては、上の議案の採決結果のところ、「6月定例会で審議された議案等」となっておりますけれども、今回、陳情はありませんでしたので、「等」の文字を削りたいと考えております。

また、下にまいりまして、「聴覚・視覚障がいのある皆さまへ」の御案内の中で、要約筆記の御案内の後に、市議会だよりの音訳CDの貸し出しの件が載っているのですが、ここに「また」で接続詞を追加したいと考えております。次に、4行目冒頭の「また」を削りまして、「市議会ホームページでも」の「も」を追加したいと考えております。

2校に関しまして、事務局から訂正の御提案は以上になります。

全体を通しまして御協議いただければと思います。よろしく申し上げます。

○吉田けさみ委員長 事務局の説明が終了しました。

ただいまの説明に御意見はございますか。

齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 大事なのは見開きのトピックス、先ほどの代表者会議で決まった文言をどのような形で表記するかを皆さんでもんでいただければと思うんですけども、要は、決まったのは、呉市と倉敷市へ10万円ずつ送金をすると。義援金を送るということは決定したと思うんですね。それプラス、最後の行には「今後も義援活動に取り組んでまいります」という文言も入れていただきたいと。これ単発で、これで議会は終わりじゃないですよ。7月26日に駅前での街頭募金もいたしますし、当然これは長期的な募金活動になろうかと思っておりますので、様子次第で、1回だけでなく、議員間での駅前の活動もプラスされると思っておりますので、文言としては「今後も義援活動に取り組んでまいります」というようなものは入れておいていただいたほうがよろしいと思います。

○吉田けさみ委員長 議長から、代表者会議を受けて発言がありました。

具体的には、呉市と倉敷市に義援金をまず送金することと、あわせて、駅前での募金活動も含めて市議会としても取り組んでいくというような形で提案がありましたけれども。

齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 文字数がうまく入るんだったら、それで入れ込んでもらえれば。

○吉田けさみ委員長 細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 事務局より、呉市と倉敷市に義援金をお送りしたという御案内の前に、今回、視察予定先であったということを追加させていただけたらと思います。

○吉田けさみ委員長 それはよろしいですよ。視察先だったということが市民にわかればということだと思っておりますけれども。

細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 スペースにつきましては、左側の行政視察の写真と、キャプションの位置を工夫して入るように調整できればと思います。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 平成30年7月の西日本の集中豪雨ではなく、平成30年7月豪雨においてにすれば、何文字か削れるんじゃないかと。

○吉田けさみ委員長 そうしたら、「義援金活動に取り組んでまいります」なんだけれども、「今後も義援活動に取り組み、随時送金していきます」というようなほうがいいですか。そうではなくて1回ぽっきりという意味ですか。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 復興のために取り組んでいくということで、お金に絞ってしまうとよくないです。義援金活動ではなくて、復興に向けた活動に取り組んでということです。

○吉田けさみ委員長 齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 言いたいのは、和光市議会として単発で終わる話ではないですよ。これからも継続して義援活動はしてまいりますということを市民に訴えたい。

○吉田けさみ委員長 皆さんの御意見が大体出そろっているかなと思うので、議長と議会事務局で、この欄についてはまとめていただくということよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

そのほかに全体を通して御意見ありますか。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 「用語解説」のところ学童クラブと放課後子ども教室も調整して入れていただけるということで、左側のRPAもあるので、この「用語解説」というタイトルを左のほうにずらしてそろえる形のほうが、私はいいのかなと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

○吉田けさみ委員長 用語解説が3件になっているので、「用語解説」という見出しを左上に持っていくという御意見です。よろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのようにお願いします。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 たびたび申しわけありません。一番最初のページに戻って、上谷津公園のところも工夫していただいて、イラストも現在の段階では入っていて、先ほどのお話で、イラストか写真かということだったんですが、写真が間に合えば写真のほうがいいかなと。ただ、スペース的にはちょっと狭いので、あそこにあるイラストを1つに絞ってもいいのかなという気が私はいたします。その辺、先ほど御説明もいただいているので、検討して進めていただければと思うのですが、いかがでしょうか。

要は、写真が間に合えば写真が一番いいんですけども、編集の時間というか、最後、原稿

を入れなくちゃいけない時間もあるので、その辺含めて御検討いただければと思います。

○吉田けさみ委員長 写真のほうがよりよいのではないかという意見も含まれているんですけども、議会のほうで写真撮ってきますか。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 先ほどの説明で、写真があればということで、間に合えばということだったので、私自身は写真のほうがりわかりやすいかなという気もしますけれども、編集との関係もあるので、時間もあるので、その辺、写真を入れたほうがいいのかという考えはありますけれども、もし難しいのであれば、上谷津公園にある遊具なり特徴、イラスト1点絞って入れられたほうが、幾つか入れるというよりもいいのかなという気がしました。ただ、私自身としては、写真のほうがいいかなという気もしました。

○吉田けさみ委員長 御意見ですね。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 その辺は要望というような形でお願いいたします。

○吉田けさみ委員長 納期との関係ということで、間に合えば写真も撮っていただけるんでしょうか。その辺いかがですか。

細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 まず、写真が入手できれば、イラストではなく写真のみここに掲載したいと思います。それと写真についてなんですけれども、公園の開園イベントの案内チラシなども写真が入っておりましたので、既に撮影済みのものがあると思いますので、そちらを提供していただければと思っております。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 はい、ありがとうございます。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 バックするかもわからないんですけども、1面に第五小学校のプールと境界塀写真が載って、今、世の中で非常に問題になっています。和光市でも、これ以外に問題があるところ、新倉小学校なんかもブロック塀の基礎を全部壊して外しているんです。だから、ちょっとこの下にそういうこともコメントを入れたらどうでしょうか。3カ所か4カ所、問題のところがあるんです。

○吉田けさみ委員長 このページが6月定例会の主な議案というところで記事をつくっていますので、ちょっと緊急で今、市のほうで対応しているブロックの解体とかというのは、私たち議案審議をしてきていない立場でもありますので。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 そういう記事の中だけけれども、枠外に例えばどうですか。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員、もう一度発言をお願いします。

○赤松祐造委員外議員 第五小学校をタイミングよくしたのは、市民はこれ見て喜ぶと思うん

です。じゃ、私の行っていた小学校はどうだというように、これから発想すると思うんですよ。そういうものを議会としてはコメントとして何か書いたほうが私はいいと思うんですけども、市長も議会の最後のところで、他のところにもチェックをかけるように指示しました。その後、市長から報告があるわけですから、その辺いかがでしょうか。

○吉田けさみ委員長 まず、整理していただきたいのは、これは市議会だよりということで、6月定例会の主な議案に議員がどのように向き合いながら可決してきたか、あるいは否決してきたかというところを、議員の役割の分担、役割の一つとして知らせるといふ紙面になっているので、赤松委員外議員の意見は理解できるんですけども、ほかの方からも御意見を伺いたいと思います。

猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 この市議会だよりに載せるのはちょっと難しいというのは、今、委員長のおっしゃったとおりだと思うんですよ。6月定例会の報告ですから。

ただ、別の紙面の市の広報で載せていただくようにこらちからお願いするというのはあってもいいのかなと思いました。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 いいですよ。何らかの形でお願いします。

○吉田けさみ委員長 本当に議員の役割と市長の執行部側の役割とかいろいろあると思うんですよ。市がこういう動きをしていますというのは確かにあるけれども、それは個々の議員としても知らせていくとか、そんな努力も含めて、あるいは市長のほうで市民にもっときちんと知らせるべきじゃないかとかというのは、要望という形でもできるかと思いますので、この紙面については、この形で進めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

ほかに御意見ございますか。

〔「なし」という声あり〕

それでは、事務局におきましては、今出されました意見のとおり進めていただきたいと思います。

特定事件7、議会だよりの編集、作成については、以上で終了いたします。

次に進みます。

特定事件8、その他議会運営に関することについてとして、基本条例に基づく見直しについてです。

本日は、検討項目⑩政務活動費について、検討項目⑪事務局強化について取りまとめたいと思います。

初めに、検討項目⑩政務活動費についてです。

検討結果として、政務活動費の公開ということが主眼だったわけですけども、全ての領収書を公開するとした提案に対して、提案会派以外は現状の公開の仕方でもよいという意見ですので、現状維持の原則で、これまでどおりの公開の仕方とまとめたいと思います。いかがでしょ

うか。

〔「異議なし」という声あり〕

次に、検討項目⑩事務局強化についてです。

検討結果のまとめとしまして、事務局強化については、現状でも事務局職員の力を活用することは可能であり、どのようにレファレンス能力を発揮してもらうのか、議員側が検討する必要がある。また、インターネットの活用、行政側との重複図書などにより、図書費を削減した経緯もあるが、図書室機能の強化は必要であり、他市議会の実情を踏まえて今後検討するとまとめたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

これに関して出された意見なんですけれども、議員の政策能力、提案力を向上するのが先決であり、事務局は現状のままでもよい。レファレンス機能の強化については賛成だ。政務活動費を活用しての調査や資料の購入が可能になっていること。また、事務局の力を活用するのは現状でも可能だと思う。事務局職員は専門的な能力を持っているので、議員側がどのように能力を発揮してもらうのか検討する必要があると思う。議会図書室については本のそろえも必要であり、他市議会の実情も含めて検討する必要があると思うというような意見が出されています。このようにまとめたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「すみません、1つだけ意見いいですか」という声あり〕

村田富士子副議長。

○村田富士子副議長 このたび事務局強化ということで意見を出させていただきましたけれども、今、インターネットがかなり使えますので、調査しようと思えば、本当に調査は個人でできると思うんですけれども、特に新人のときなんかは、何がわからないかもわからないという状況にありますよね。私も平成15年に議員になったときに、まだそれほどインターネットが普及していなかったし、こんなことをちょっと調べたいと事務局に投げかけると、そのこと以上に大変な、もう本当に参考になるような調査をしてくれて戻してもらったという記憶がすごくあるんですね。ここまで本当に細かく、なおかつ本当に議会活動の助けになるような調査をしていただいたというのが、この五、六年の間はすごく記憶があります。

やはりインターネットを使えるようになってきてしまうと、ついそこに頼りがちなんですけれども、事務局にお願いすることで、自分では想像しなかった答えが返ってくるということが本当にあるんですね。それだけの力量も備えた職員の方がいらっしゃいますので、そこはお互いにこちらがまたそれを投げかけることで、その職員の方も経験をすることで成長していくという、これはお互いの相互関係であり、そこをきちんともう少し活用していくべきだなというのが私も反省を踏まえて、以前のことを思うと、もっとお願いをしていいのではないかなという、ともに成長していけたらなというような思いがすごくありまして、今回はこのようなことも提案させていただきましたので、意見として言わせていただきます。

○吉田けさみ委員長 ただいま副議長から御意見がありました。よろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

次に進みます。

前回の議運で検討項目⑫政策立案機能の向上について、提案会派からの提案理由に対して、各会派で協議をいただいております。

それでは、各会派から検討結果を報告していただきたいと思います。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 政策立案機能の向上についてなんですけれども、緑風会といたしましては、議員側の課題であり、議員の資質の向上とともに、先進地の視察や勉強会などを検討していくことがいいと思います。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 日々の議員活動を通じて、アンテナを高めて、できるだけ日々の出来事を吸収した上で、それが政策提案につながるというような意識を持って、日々研さんしていくということになるのではないかと考えております。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 緑風会、日本維新の会と同じような内容なんですけれども、検討項目5番の議員の資質向上のところでも同じような議論にはなったかと思うんですが、繰り返しになってしましますが、先進地で勉強させていただくとか、あるいは研修を通じて政策立案能力を上げていく、こういった努力は必要ではないかと思っております。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 まず、議会が持つ機能とか権限、これは例えば発言権であったり、それから表決権などを生かして、やはり住民の利益を守る役割を果たすように活動するのが住民代表としての議員の任務だと考えています。

政策提案も、会派や各議員が個々に行うのか、議会として取り組むのか、方法はあると思うんですね。考え方に違いがあれば、当然会派や各議員で取り組むことになりまして、あくまでも住民の利益を守るという立場で行動するというのが基本だと考えています。それに応じて政策をどういうふうに立てていくかというのも、これまた方法として考えられるかなと思います。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 内容としては同じになってしましますが、やはり安心・安全で住みやすいまちづくりのために日々活動しておりますので、政策立案機能もしっかりと向上と御提案にありましたが、まずしっかりそういう力を持つところから取り組んでいきたいと思っておりますので、やはり視察や勉強会などができるのであれば、積極的に取り組んでいきたいと考えます。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 皆さんと同じ部分ですが、できる限り市民との対話、また現場に立って、問題意識を持つという、その中から課題解決に向かうというようなことを常に思っています。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 今の中で、議会で政策提言か個人かというようなこともあったんですけども、基本的には議会としてでき得るならば、統一したテーマについていろいろな調査や議論を重ねてまとめていくというのができればいいのかなと考えています。

個人で高めていくという場合には、やはりいろいろな意見、当然市民や住民、当事者の意見を聞いてまとめていくというのは必要だとは思いますが、その際にはやはり執行している行政、あるいはそのほかの法令なり条例なりについても、十分個人の議員としても調査を極力尽くしていくと。100%できるというものでもないですけども、でき得る範囲で尽くしていくということが必要で、やはりそういった中では、自分の意見はあるにしても、余り最初から決めつけることなく、幅広く調査やいろいろな聞き取りを行っていく上でまとめて、政策なりいろいろな課題についての解決策を考えてまとめていくということが必要なのかなと。

そういった意味では、やはり議会として全体でまとまって、いろいろな政策立案について協議していくということになれば、いろいろな見方とか、いろいろな考え、いろいろな調査結果というものが持ち寄れるので、やはり議会としてまとまってやっていければ理想というか、そうやっていければということで、議会としての取り組み、議員個人としての取り組み、また議会事務局の強化ということもありましたけれども、事務局の協力とか、そういったことも含めて進めていくことが必要なのかなと考えております。

○吉田けさみ委員長 各会派から御意見が出ましたけれども、提案者の公明党、富澤委員、何かありますでしょうか。

公明党、富澤啓二委員。

○富澤啓二委員 皆様から御意見をいただきまして、ありがとうございます。

本当に基本は住民福祉の向上を目指すための政策立案能力ですので、今のをまとめていただいて、お願いしたいと思います。

○吉田けさみ委員長 それでは、次回、意見をまとめていきたいと思えます。

次に、検討項目⑬議会広報の充実について、それぞれの会派からの御意見をお願いいたします。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 議会広報の充実ということで、議会だよりのことで、100号でも大分苦労したと思うんですけども、今後、できれば、やはり単独で議会だよりの発行できればと思います。また、よりわかりやすく魅力的に読ませる工夫が必要で、議会に関心を持っていただくなど、紙面づくりを検討していくことが重要であると思えます。

○吉田けさみ委員長 公明党、富澤啓二委員。

○富澤啓二委員 予算の制約の中で作成していかなければいけないという統理がありますけれども、それを含めて紙面の充実を常に図っていくのが大事だろうと考えます。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 皆さんと同じですが、現状の予算の範囲内で、できるだけ市民にわかりやすい議会だよりをつくっていただけると考えております。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 100号記念のときには、いつもの1ページ目と違う内容だったということで、結構それに気づかれた方、私の周りでも多かったのも、非常に効果があったと思います。

先ほど、緑風会からも、読んでいただく工夫、1ページ目がまず入り口になりますので、こちらの工夫、今ちょっと定型的なもので、毎回やや同じ内容になってきているので、ここをひとつ読んでもらうために一工夫できないかということを経験していただければいいのかなと考えております。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 理想を言えば、やはり以前のように議会単独で、いわゆる市の広報の中の折り込みではなくて、議会だよりとしてページも充実させていければと思いますけれども、すぐにはそういうふうにはなかなかいかないと思いますので、先ほど来あった、読んでもらう、目を引くという紙面の作り方について研究というか、研修していくということも必要なのかなと。

以前、別のところで、広報紙の人目を引く作り方ということで、以前、マニュアルづくりをやっていた方の話を聞いて、直接違う人がメーカーのマニュアルづくりを担当していて、その方が移ったときに、思い切って従来のマニュアルをばっさりと、何十%、もうほとんど残りが無いぐらいにカットして、果たして大丈夫かと見たら、実はそのほうが機械を扱う人間にとっては逆にわかりやすかったと。何を伝えるかということの意味ということで大変勉強になったので、そういった意味で議会としても研修をできればいいのかなと考えます。大卒としては、今まで言われた方の意見と同じということでもあります。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 非常に難しいことを言うかも知れませんが、6月19日に議会が終わって、8月までに40日も50日もたって、議会報告というのは日にちがたち過ぎているんですね。ただ、非常に難しいですよ。本当にもっとスピードを持って市民に渡せば、非常に形が決まったものでも、ああ、6月議会終わったなという関心を引くんですね。そういうように早くできる工夫というのが何かないんですか。物すごく民間のチラシを見てもわかるように、非常に難しいものを本当に2日か3日でぱっと書き上げていますよね。通り一遍のことしか書いていないので、もっとスピードを持ってできる工夫は必要ではないでしょうか。

例えば7月1日ぐらいにぱっと配れるように。そのかわり広報と一緒にっては出ませんよ

ね。それぐらいスピードがあれば、みんなもっと読みたくなると思います。6月議会が8月とか9月に出て、1カ月、2カ月もたてば、私はそんなに興味を引かないような気がするんですね。皆さんの意見はどうでしょうか。

○吉田けさみ委員長 小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 予算が許されるのであれば、市の広報とは別立てで出せたら一番いいのかなとは考えております。

そのためにも、読んでいただけるような紙面づくりというのは必要であると思いますので、これについては皆さんで勉強して行って、読んでみようと思っていただける紙面づくりを取り組んでいきたいと思います。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

提案者の日本共産党、吉田けさみ委員、皆さんの意見を伺って感想をお願いいたします。

○吉田けさみ委員 長年、市制施行されてから市議会だよりをずっと発行してきた経緯なども含めて例規集等にも書いてあるわけなんですけれども、赤松委員外議員がおっしゃる、スピード感を持ってと言うけれども、じゃ、スピード感をつければ市民が読んでくれるのかどうかというのは、やはり紙面の内容にもよるかなと思っているんですね。

それと、今の進め方で、原稿を工夫してつくって発行するまでには、一定相当の期間も必要だとなると、スピード感というよりは、むしろこんなことがわかってよかった、市政に対して議会がどんなふうになっているかよくわかったというような感想をもらえるような紙面づくりをしていく必要があると思います。

それから、菅原委員外議員を初めとして議会としても議会だよりの作成については研修をしていったらどうかという御意見もありましたので、私は一度、議会として、議員が個々に出している人もありますし、会派で出しているところもあるわけなんですけれども、紙面づくりということのルール、議員としてこの議会運営委員会でも、各議員が出したのものに対して注意がされたりという経過もありますので、やはり議員全員で公人として、議会のルールは守りつつ市議会だよりを発行していくという、その基本を学ぶことも、紙面づくりの内容もそうですけれども、そんなことも含めて研修していけるといいかなというのは、今皆さんの意見をいただいて感じました。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

これは次回まとめさせていただきたいと思います。

よろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

出された意見に対して、もし御意見などもあったら、追加で伺っておきたいと思うんですけれども、よろしいですか。

〔「なし」という声あり〕

次に進みます。

検討項目⑭定数削減について、提案会派の日本維新の会、金井委員から説明をお願いいたします。

日本維新の会、金井伸夫委員。

○**金井伸夫委員** 2025年には団塊世代が全員75歳以上になります。そうすると、財政需要がますますふえていくことになります。

一方で、現役世代の人口が減少することによって、収入のほうが見合って増加していかないという傾向が明らかになってきましたので、和光市としても財政の持続性を確保していくためには、議員定数の削減というものが避けて通れないのではないかとということで、こういった提案とさせていただきます。

○**吉田けさみ委員長** ただいま提案説明がされましたけれども、提案者に対して質問ありますか。

菅原満委員外議員。

○**菅原満委員外議員** 定数削減で、お金の面で見れば、政務活動費とかほかにもあるので、そういうことについてどう考えるのか。

それと、定数削減といっても、人数的なものはどういうふうに考えているのかについて考えを示していただければと思います。

○**吉田けさみ委員長** 日本維新の会、金井伸夫委員。

○**金井伸夫委員** 政務活動費とか、議員報酬とか、そういうことだと思うんですが、それは現状維持で、定数削減という趣旨は、例えば志木市等で14名に削減しておりますので、人口規模に合わせれば16名でも、少数精鋭ということになりますけれども、やっていけるのではないかなということで提案しております。

○**吉田けさみ委員長** 提案の根拠ということで質問が出されました。

赤松祐造委員外議員。

○**赤松祐造委員外議員** 本当に第四次和光市総合振興計画から見たら、和光市の人口が8万人以上に人口がふえているわけですよ。今後、駅の北側の人口はどんどんふえていくので、5年後、和光市の人口を金井委員はどれぐらいと見られているんでしょうか。

○**吉田けさみ委員長** 人口増に対する考え方と削減との絡みで発言をお願いします。

日本維新の会、金井伸夫委員。

○**金井伸夫委員** 10万人ぐらいにはなるかなと、予測もされておりますので、その程度になっても、16人で回していけるんじゃないかなと考えております。

○**吉田けさみ委員長** 菅原満委員外議員。

○**菅原満委員外議員** もう1点なんですけれども、政務活動費、政務調査費を決めたときは、この近隣4市で大体同じような形でというようなこともあったと記憶しておりますが、どうして政務活動費は現状維持ということなんですか。提案された金井委員は、以前は政務調査費は廃止というような趣旨のことも言われていたと思うので、その辺について改めてお考えを

お聞かせいただければと思います。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 なければないでいいんですけども、年間24万円でやっておりますので、定着しているということもあります。

それから、当初の公約では廃止ということを行いましたけれども、その後、議会のほうで賛成多数で残すということで決まりましたので、それに基づいて私はやっております。

あと金額的には、ほかの市町村と比べていろいろとあると思いますけれども、さっき言ったように定着しているのでもいいんじゃないかということで、現状維持でということですよ。

○吉田けさみ委員長 休憩します。(午後 2時22分 休憩)  
再開します。(午後 2時24分 再開)

公明党、富澤啓二委員。

○富澤啓二委員 全国の自治体で8万人規模の議員定数というのは、和光市は大変少ないと思っています。志木市の事例を出されましたが、志木市で今14名ですか。何か支障等、そういうことはあるかどうか、もし知っていらっしゃれば教えてください。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 志木市で特にどうということは、私は承知しておりません。これは埼玉県南西部というか、この近隣4市においては同じような傾向でありますので、それ以外の地方自治体がどうかということに関しては、私の問題意識の対象外でありますので、たまたま志木市の例を挙げたわけです。

○吉田けさみ委員長 ほかに提案に対して質問を伺っておかないと、会派に持ち帰って議論ができないというような感じがしています。

新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 2人削減されるという提案ですが、2人分の御意見というのが4年間なくなってしまうということで、それはそれで市民にとってマイナスなことではあると思います。

一方で、金井委員の御提案では、その2人分の財政が圧縮できるということで、2人分の意見が失われることと、2人分の財源の圧縮というのをてんびんにかけた結果、圧縮するほうが市民のためには利益になるという判断をされての御提案なんですか。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 おっしゃるとおりです。猪原委員の言うとおりのことです。

○吉田けさみ委員長 ほかに提案に対して質問ありますか。

〔「なし」という声あり〕

次に進みます。

検討項目⑮議員報酬について、提案会派の和光・まちづくり市民の会の赤松祐造委員外議員、説明をお願いいたします。

○赤松祐造委員外議員 和光市の議員報酬がこんなに安いというのは、私も知っていただけ

れども、この報酬では、これからの若い人が入ってこられないわけですね。

私はたまたま会社に勤めて、年金とかそういうのがあるから、それプラスアルファで動けます。そういう面で、若い人に議員になってほしいと思っても、生活がやっていけないです。副業をやればいいのかもわかりませんが、結構、議員忙しいですから、生業としての副業は非常に難しいと思います。そうすると、アルバイトをやって議員をやる。これからの和光市が発展するには、やはり優秀な人材が議員になってもらわないと、今後の和光市の発展はできないと思うんです。

私は何人かに声をかけたけれども、生活やっていけないです。子供が3人いて、子供の育児をして、大学、大学院までやらそうと思えば、月50万円とか55万円ないと生活はできないと思います。ローンを払い、そういう面でとても安いんですよ。普通の年齢からいくと、半分ぐらいの給料かもわかりません。

私は、年金があるからやっていけますけれども、今後、和光市に若い世代に入ってもらうのであれば、もっと上げる必要があると思います。もちろん政務活動費も上げて、使える人には使ってもらって、そこで1人定数を削減したら、それをそちらに回すという方法があるかもわかりませんが、それでも1割もふえないわけですから、やはり議員報酬というのは、僕はあるべき姿があると思うんです。

近所の人でも、和光市の市長の給料が埼玉県で下から2番目だというのは、ニュースを聞いてびっくりしていて、じゃ、議員は下から何番目ということを見ると、やはり大概の人は知らないんですよ。日本維新の会は結構生活やっていけるみたいですが、やはり僕は議員報酬は考えるべきだと思います。やはり優秀な人を議会に入れるためには、最低限度の生活ができるようにすべきと私は思います。

○吉田けさみ委員長 それでは、提案者に対する質問はありますか。

日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 議員報酬に関しては、4月に値上げしたばかりなので、さらに値上げすることになると、市民の声が気になるんですが、その点はどのように考えていますか。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 市民には言われても、結構説得で理解してもらえますと思います。例えば子供が3人いたとして、私は4人です。それで、みんなが大学、大学院に行くようになると、今はみんな大学行きますからね。やはり最低限度の生活ができる議員報酬は僕はあるべきだと。

私らの年齢は構わないかもわからないけれども、今後のことを思うと、考えて、やはり優秀な議員が継続して入ってくるためには、ちゃんとやらなければいけないと思います。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 赤松委員外議員から五、六十万円ぐらいはあってもいいのではないかと御提案だったんですが、この五、六十万円の根拠というのを伺いたいと思います。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 若い議員で3人のお子様がいるとしたら、昔に比べれば、子ども手当があるかもわかりませんが、そこで家も買ってローンとなると、やはり50万円はないと生活は大変じゃないのかなと思います。やはり市民に納得してもらわないと、いいまちはつくれないです。

○吉田けさみ委員長 緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 議員の報酬増額ということなんですけれども、今、地方議会で議員のなり手がいないということがありますけれども、そういうのも含めて若い人のなり手と、議員確保につなげるということで、議員報酬の増額ということで提案されているのでしょうか。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 和光市は地方の自治体と違って急成長しているし、大きな問題をいっぱい抱えています。過去の政策のおくれ、区画整理のおくれ、課題が非常に多いわけです。だから、やはり優秀な議員はどんどん入っていただくような仕組みをつくらないと、首都圏の自治体として発展するためには、私は必要だと思っています。

○吉田けさみ委員長 ほかに質問はございますか。

〔「なし」という声あり〕

それでは、検討項目⑭と⑮、定数削減と議員報酬について、一度、各会派に持ち帰っていただいて、次回の議運までに協議をお願いいたします。

次に進みます。

議会報告会開催要領についてです。事務局で案を作成しております。

休憩します。（午後 2時33分 休憩）

再開します。（午後 2時38分 再開）

それでは、開催要領案の内容について御意見を伺いたいと思います。

まず、開催時期と場所については、前回の議会運営委員会で決定したとおりですので御確認ください。

次に、議会報告の内容と意見交換会についてです。

議会報告は平成29年度決算の審査概要でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

2点目として、意見交換会テーマについてです。

前回の議会運営委員会で決定したとおり、「産業振興について」をテーマにいたします。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

最後に役割分担とグループ分けについてです。

役割分担については、開催要領（案）のとおり、グループ数は、2グループ、あるいは21名以上であれば3グループというふうに臨機応変、その場で対応したいということなんですけれども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、議会報告会開催要領をこのように確定したいと思います。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 戻って申しわけないんですが、役割分担の中の（４）で議会報告受付案内で、前々回まで人数を把握して、その関係でグループ分けということをやっていたんですが、今回もやはり人数を受付の段階で把握するとともに、グループ分けもどういうふうに分けるかということを受付の担当の方たちで相談しておいていただければ、スムーズに２グループ、３グループに分かれることができるのかなど。人数のバランスの調整も事前に考慮しておいたほうがいいのではないかなという気がいたしますので、その辺御検討いただければということと、あと記録の関係で、各グループで記録をつくり、最後、文書化しますけれども、それも各個人をつくり方じゃなく、ある程度統一的なまとめ方にしておいたほうがいいのではないかなという気がしますので、その２点について検討、御協議いただければと思います。

○吉田けさみ委員長 ２点にわたる御意見が今ありました。

受付のほうでおおよその人数の把握がつかめていたら、グループ分けがスムーズにいくという関係でいかがでしょうか。

小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 受付を担当させていただいておりますが、前回については、学校、地区によって２つに分けたというイレギュラーな形で行ったということがございました。従来どおりいらした人数をきちんと前回も把握しておりますので、それに対応して分けるという形にさせていただきたいと思います。

○吉田けさみ委員長 難しいと思うんです。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 業務として受付案内の中に、入場者確認という１行を入れておければいいと思います。誰か１人責任者がいないと。ここだと齊藤克己議員になるんですか。

○吉田けさみ委員長 小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 言葉足らずで申しわけありませんでした。

人数の確認というのはきちんとしており、把握できておりますので、２１人になったところで３グループに分けられるようにいたします。

○吉田けさみ委員長 人数が把握できたら、司会のほうにメモ等で伝えていただけると、分けるときに都合がいいので、その辺はよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

休憩します。（午後 ２時４３分 休憩）

再開します。（午後 ２時４５分 再開）

記録については、現在、菅原委員外議員が出席されておりますので、菅原委員外議員のほうから記録係の方に伝えていただいて、一定の統一した方法をとっていただくというような手立

てをとれるかどうかということで、そういうお願いをしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、そのようにお願いいたします。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 委員長のほうの提案ということで、相談して、またその際のフォーマット、データのやりとりもあるので、事務局のほうとも相談しながら進めるようにいたします。

○吉田けさみ委員長 よろしくお願いいたします。

小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 先ほど、人数の確認はしておりますということで申し上げましたけれども、この要領の中に人数の確認を受付案内ですという、担当の仕事であるということを書き明かすかしないかについては御協議をいただきたいと思います。

○吉田けさみ委員長 齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 要は20名以内か21名以上かで、誰がキーマンとなって結論を下すか。受付が責任をもって、3グループですと言うのか、それとも、議運の委員長が司会をやっていますから、情報だけを伝えて、司会者に一任すると。基本は、司会者が発言するのは最終的な発言になるので、情報を受付が司会者に提供する。司会者は、20人か21人か、プラスかで、3グループとでかく書いて渡せばいい話だから、キーマンというか、決定権者は議運の委員長だと理解しています。

○吉田けさみ委員長 それでは、今、議長から発言がありましたように、受付係のほうでその辺の対応をしていただきたいということで、要領はこのままにしておきますけれども、受付担当の方で意思統一を図っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 21人、22人でもいいんですけども、2グループになった場合、来られた参加者は、どちらのグループにいくかは、どうやって決めるんですか。

○吉田けさみ委員長 前は受け付けた順に、受け付けた資料のところに番号を振っていったんですね。それで最終番号が、例えば24であれば、3で割れば何人ずつというような形で判断できるということだったんです。だから、受付の方がその辺についても人数の把握とあわせて番号をつけていただくとか、いらした方に1番から番号をつけていただくとか、その辺の対応を図っていただければ、何番から何番の人は全員協議会室とか、第2委員会室とかという案内ができますので、それでよろしいでしょうか。

小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 従来もいらした方に資料をお渡しするときに、番号を振っております。この番号で分かりますというお話もしながらお渡しをしておりますので、いらした方を等分に分ける形に近い形にしまして、分かれていただけるようにしてありますので、それをきちんとメモでお知らせをするということで進めていきたいと思います。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 それで結構です。

○吉田けさみ委員長 ほかに御意見ありませんか。

〔「なし」という声あり〕

それでは、議会報告会開催要領をこのように確定したいと思います。

次に進みます。

議員研修会についてです。

議長から提案があります。

齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 現在、会派代表者会議において中小企業振興に関する条例を議員提案で制定することについて協議をしています。代表者会議としては、議員全体で勉強会を実施しながら検討していく方針でございます。その第一歩として、7月17日火曜日に開催する議員研修会にあわせて最初の勉強会を開催したいと考えています。

つきましては、前回の議会運営委員会において、議員研修会の日程について、10時から1時間30分程度としたところですが、9時30分から1時間程度に予定を前倒しした上で、その後、10時45分から1時間程度、産業振興についての勉強会とすることについて、議会運営委員会としても御賛同いただければと思っております。

○吉田けさみ委員長 ただいまの議長からの提案について御了承いただけますでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのようにいたします。

では、議員研修会については、7月17日9時30分から行うこととし、テーマに「産業振興について」を追加したいと思います。御参集のほどよろしく願いいたします。

以上で本日の案件は全て終了しました。

今後の日程を確認します。

次回の議会運営委員会は、8月28日火曜日午前9時30分から、内容は、特定事件1、次の議会の会期予定についてとして、平成30年和光市議会9月定例会の会期日程等について、特定事件8、その他議会運営に関することについてとして、基本条例に基づく見直しについてです。日程調整のほどよろしく願いいたします。

そのほかございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、本日の記録及び公開資料等については委員長に一任願います。

以上で議会運営委員会を閉会いたします。

午後 2時53分 閉会

和光市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 吉 田 け さ み